

「飛翔体」滞空時間競う

生徒、学生弘前で競技会

弘前

弘前大学大学院理工学研究科付属医用システム創造



優勝した
対馬吾郎さん

フロンティア
ア(小野俊郎センター
長)は24日、
手作りの飛翔体を落下

時間を競う競技会を同大学第2体育館で開いた。弘前工業高校の4チームと弘前大学の12チームが参加し、「俺がスタンダードだ」のチーム名で参加した同高校土木科2年、対馬吾郎さん(17)が12秒6で優勝した。今年4月に設置した同フロンティアの社会貢献事業の一環として、学生がもの



装置から放たれた飛翔体の様子をつかがう出場者

づくりに興味を持ち、創造性を高めてもらおうと初めて開いた。

大会は、約5メートルの高さから各チームが作った飛翔体を落とし、床面に着くまでの時間の長さを競った。学生たちは紙やポリ袋など自由な素材を使い、パラシュート型やプロペラ型などの飛翔体を作製。大会中も微調整を繰り返しながら4回の試技でベストタイムを狙った。

大学生を抑えて優勝した

対馬さんは「うれしい。最後にいいタイムが出て良かった。来年も優勝を狙いたい」と意気込んだ。また、2、3位と投票で選ぶアイデア賞も高校生が獲

得した。

(秋村有香) 優勝以外の結果は次の通り。

- ②、安全に!! (太田充・弘前工) 12秒5
- ③キャンプラー (山内海斗・同) 12秒3
- ▽アイデア賞 ナリナリ (成田俊也・同)

※この画像は当該ページに限って
東奥日報社が利用を許諾したものです。
[問合せ先]弘前大学理工学研究科
jm3505@cc.hirosaki-u.ac.jp